

沿革

大正	13年	3月	大宮町立図書館、大宮小学校内に開館
		6月	野田村立簡易図書館、野田小学校内に開館
		8月	谷田村立図書館、谷田小学校内に開館
			尾間木村立図書館、尾間木小学校内に開館
		9月	浦和町立少年図書館、浦和小学校内に開館
			大門村立図書館、大門小学校内に開館
			与野町立図書館、与野小学校内に開館
	14年		植水村立図書館、植水小学校内に開館
昭和	3年		七里村立図書館、七里小学校内に開館
			川通村立川通図書館、川通小学校内に開館
			岩槻町立岩槻図書館、岩槻小学校内に開館
			和土村立和土図書館、和土小学校内に開館
	4年		片柳図書館、片柳小学校内に開館
			三室村立三室図書館、三室小学校内に開館
	9年		浦和市立第二少年図書館、常盤小学校内に開館
			浦和市立第五図書館、本太小学校内に開館
	28年	4月	大宮市立図書館設置条例施行
	44年	6月	与野市公民館図書室開設
	46年	4月	与野市図書館開館
		9月	岩槻市立中央図書館開館
	47年	7月	移動図書館「なかよし号」（与野）巡回開始
	48年	2月	大宮市立図書館（のち大宮図書館に改称）、高鼻町に新館開館
		7月	移動図書館「ほたる号」（大宮）巡回開始
	49年	1月	浦和市立図書館（のち北浦和図書館に改称）開館
		4月	移動図書館「しらさぎ号」（浦和）巡回開始
		9月	配本所（東大宮）開室、以下順次開室
	50年	10月	移動図書館「こだま号」（岩槻）巡回開始
	51年	10月	浦和市立図書館中央分館（のち北浦和図書館東高砂分館に改称）開館
53年	5月	岩槻市立中央図書館（のち岩槻図書館に改称）新館開館	
53年	10月	与野市図書館南分館、大戸小学校内に開設	
56年	12月	与野市図書館（のち与野図書館に改称）新館開館	
60年	8月	浦和市立南浦和図書館開館	
61年	4月	与野市図書館南分館（のち与野図書館南分館、与野南図書館に改称）新館開館	
62年	6月	大宮市立西部図書館（のち大宮西部図書館に改称）開館	
平成	4年	6月	大宮市立東図書館（のち大宮東図書館に改称）開館
		10月	与野市図書館西分館（のち与野図書館西分館に改称）開館
	5年	3月	移動図書館「なかよし号」廃止
	6年	10月	4市1町（浦和・大宮・上尾・与野・伊奈）広域利用開始
	7年	1月	浦和市図書館、戸田市図書館と相互利用開始
		4月	浦和市図書館、川口市図書館と相互利用開始
	8年	4月	岩槻市立岩槻駅東口図書館開館
	9年	4月	浦和市図書館、蕨市図書館と相互利用開始
		4月	浦和市立東浦和図書館開館
	10年	4月	岩槻市立東部図書館（のち岩槻東部図書館に改称）開館
		6月	大宮市立春野図書館開館
	12年	5月	大宮市立西部図書館三橋分館（のち大宮西部図書館三橋分館に改称）開館
		7月	大宮市立七里図書館開館
		大宮市立宮原図書館開館	

沿革

平成	13年	5月	さいたま市誕生
		11月	さいたま市図書館協議会発足 さいたま市視聴覚ライブラリー運営委員会発足
	14年	7月	馬宮図書館開館
	15年	4月	政令指定都市へ移行
	16年	7月	桜木図書館開館
	17年	3月	図書館コンピュータシステムの一元化
		4月	岩槻市編入 岩槻図書館、岩槻駅東口図書館、岩槻東部図書館が 加わり、さいたま市図書館19館に
		6月	インターネット予約開始
		7月	桜図書館開館
	18年	1月	岩槻区のシステムを統合
		3月	移動図書館「こだま号」廃止 移動図書館「しらさぎ号」が「こだま号」担当駐車場の巡回開始
		4月	3市（川越・春日部・蓮田）広域利用開始
		5月	片柳図書館開館
		9月 ~	アスベスト除去工事（大宮図書館、岩槻図書館、南浦和図書館）
		11月	移動図書館「ほたる号」廃止、「宝くじ号」巡回開始
	19年	4月	桜図書館大久保東分館開館 与野図書館南分館が与野南図書館に昇格
		5月	開館時間、開館日の拡充（開館時刻の統一、月末休館日の廃止） 市内9館と3分館にて、窓口業務（貸出、返本、書架整理等の 定型的業務）委託開始
		9月	北浦和図書館東高砂分館閉館
		11月	中央図書館開館 図書館組織の再編成 （中央図書館、拠点図書館、地区図書館・分館の3構成になる）
		12月	移動図書館「しらさぎ号」廃止 移動図書館「宝くじ号」が「しらさぎ号」担当駐車場の巡回開始
	20年	4月	市内3分館の全面窓口業務委託開始
		5月	北図書館開館（設計と建設はPFI事業で実施） 視聴覚ライブラリーの統合、リニューアルオープン
	21年	2月	アスベスト除去工事（北浦和図書館）
	22年	3月	図書館コンピュータシステムの更新 メールマガジン配信
		4月	貸出点数の変更（全館で30点まで）
		6月	長期延滞利用者に対する貸出停止の実施
		11月	中央図書館にて図書館海援隊への参加
	23年	1月	中央図書館にて雑誌スポンサー事業を開始